まちみらい地域ミーティングでの主なご意見に対する各課の取組状況等【テーマ：医療・救急】（令和8年11月25日現在）

No.	分類	主なご意見	取組状況等
1	市内医療の維持・充実と将来方針	市内の病院・診療所の機能や受診体制を維持・充実してほしい。専門医や診療科が不足している、予約がないと受診しにくいなどの不安がある。市内でどこまで診てもらえるのか、今後どの機能を市内に残し、市外と連携するのかなどの見通しを示してほしい。	【健康増進課】 ・市内の中核病院である糸魚川総合病院の経営安定化に向け、病院の経営改善を前提に支援を実施しています。 ・糸魚川総合病院の医師・看護師等の確保や救急医療体制の維持に対する支援を実施しています。 ・地域で将来的に必要となる診療機能について、病院、医師会、県、市で協議を実施しています。 ・将来的な診療機能について、上越地域の医療再編（協議中）による機能分担、広域連携を踏まえ、然るべきタイミングで公表を予定しています。
2	救急医療と高度医療機関との連携	救急時に必要な医療につながる体制を確保してほしい。脳卒中・心筋梗塞などへの対応や救急外来を維持・充実するとともに、市内で対応できる範囲と、上越・富山などの高度医療機関への搬送・紹介の流れを分かりやすくしてほしい。急変時に、普段の病状を把握している医療機関へ搬送してほしい。	【健康増進課】 ・糸魚川総合病院、市医師会の協力体制により、24時間365日の救急患者受入体制を維持しています。 ・糸魚川総合病院の医師・看護師等の確保や救急医療体制の維持に対する支援を実施しています。 ・上越地域の医療再編（協議中）において、上越市や富山県の医療機関との広域連携体制について調整中です。
3	妊娠・出産・子育てを支える医療	妊娠・出産や子育てを安心してできる医療環境を整えてほしい。子どもの医療費助成や休日の小児科診療、病児の子どもと家族への支援も引き続きお願いしたい。	【健康増進課】 ・糸魚川総合病院の産科医療体制の維持に対する支援を実施しています。 ・糸魚川総合病院の医師・看護師等の確保や救急医療体制の維持に対する支援を実施しています。 【こども家庭課】 子どもの医療費助成、病児・病後児保育事業を継続して実施していきます。
4	医療・介護人材の確保と育成	医療・介護を担う人材を確保・育成し、働き続けられる環境を整えてほしい。 医師や看護師の確保に向け、待遇、人材育成、通勤しやすい交通、外部医療機関との連携などを検討してほしい。	【健康増進課】 ・医療人材確保に向け、小中学生への出前講座、医師・看護師等を目指す学生への修学支援、看護系学校への訪問などを実施しています。 ・糸魚川総合病院の常勤医、非常勤医、研修医、専門診療医の確保に対する支援を実施しています。 ・看護師について、上越3市で連携した確保策を実施しています。 ・人材を確保するだけではなく、医療DXの導入、勤務環境等の改善を病院と協議しています。
5	予防・健康づくりの推進	病気の予防や健康づくりに取り組みやすくしてほしい。食生活の改善、フレイル予防など、病気になる前から健康を保つ取組を進めてほしい。	【健康増進課】 病気の予防とあわせ、積極的な健康増進に次のとおり取り組んでいます。 ・幼児期から、地産地消を取り入れた食育の推進 ・食生活改善推進委員等の活動により、適切な栄養と食事について、地域への啓発を実施 ・健康づくりセンターはぴねすを拠点に運動を推進 ・身近な施設で運動ができる環境づくり ・各種健（検）診、予防接種の実施
6	通院交通の負担軽減	通院の移動や受診にかかる負担を減らしてほしい。特に高齢者や山間部の住民にとって、病院までの距離や交通費は大きな負担となっている。病院バスや送迎サービス、利用しやすい路線、地区住民による助け合いの移動手段など、多様な交通手段の検討と仕組みづくりを検討してほしい。併せて、交通費の助成制度の充実や改善、地域間の格差をなくす取り組みをお願いしたい。	【健康増進課】 ・医師不足や通院に伴う負担の軽減に対応するため、オンライン診療等の導入に向けた検討を開始しています。 ・上越地域の医療再編（協議中）と同様に、市内医療機関における機能分担と連携の仕組みづくりにより、在宅医療の推進が必要と認識しています。

No.	分類	主なご意見	取組状況等
7	通院・受診を支える仕組み	通院や診療を、移動が難しい人にも利用しやすくしてほしい。高齢者などにとっては、移動だけでなく、付き添い、受付・手続き、薬の受け取りや説明、次回予約までが負担となっている。訪問診療やオンライン診療の活用、利用に必要な支援も含め、受診を一連の流れで支える仕組みを検討してほしい。	【健康増進課】 ・医師不足や通院に伴う負担の軽減に対応するため、オンライン診療等の導入に向けた検討を開始しています。 ・上越地域の医療再編（協議中）と同様に、市内医療機関における機能分担と連携の仕組みづくりにより、在宅医療の推進が必要と認識しています。
8	身近な医療機関と地域拠点の活用	身近な診療所や地域の拠点を生かし、地域で支え合う医療の仕組みをつくってほしい。近くの診療所を維持し、医療機関同士の情報共有を進めてほしい。公民館などを医療・商業・コミュニティの拠点として活用したり、地域住民が支え合う仕組みを進めてほしい。	【健康増進課】 医師不足や通院に伴う負担の軽減に対応するため、オンライン診療等の導入に向けた検討を行う中で、現在の公民館を活用する体制案も検討中です。
9	独居高齢者への見守り・生活支援	独居高齢者の健康状態を把握し、日頃から対話や見守りを行ってほしい。リアルタイムで健康状態を把握できるような体制やシステム構築の構想はあるか。本人の希望に応じた住まいや、介護施設に入れない人への支援など、医療に限らず生活全体を支える対応をお願いしたい。	【福祉事務所】 一人暮らし高齢者の安否確認事業や、急病等の緊急事態に対応できる緊急通報装置貸与事業を実施しています。現段階で、リアルタイムで健康状態を把握するシステム構築等の予定はありません。高齢者の住まいに関しての相談は福祉事務所で行っています。
10	災害時の医療・避難体制と情報提供	災害時の医療・避難体制と備えを、分かりやすく知らせてほしい。地震・火事・大雪などの災害時に医療や避難所がどうなるのか、暑さ、寒さへの備えも含めて具体的に情報提供してほしい。	【危機管理課】 災害時の各体制の周知については、各地区への出前講座等を通じて、情報共有を図っています。
11	医療情報の周知と市民参加	制度や医療の情報を分かりやすく伝え、市民も参加して地域医療を考える機会を設けてほしい。通知や届出、受診に必要な情報を高齢者にも理解しやすく案内してほしい。また、医療を守るために市民にできることや地域医療の現状について、問題が深刻化する前に市民と話し合える場を作ってほしい。	【健康増進課】 地域医療フォーラムや医療再編等に関する市民説明会を開催し、医療や健康に関する知識の普及と地域医療への理解促進を実施しています。